

**「新卒における理工系人材ニーズ調査アンケート結果」**株式会社毎日コミュニケーションズ  
代表取締役社長 中川 信行  
【本社】〒100 - 0003東京都千代田区一ツ橋1 - 1 - 1

毎日就職ナビ、毎日キャリアナビなどの情報サイト運営を始め、人材派遣や人材紹介など総合人材サービスを行なう株式会社毎日コミュニケーションズは、企業人事採用者を対象に2006年3月卒業予定の理系学生に対する採用ニーズ【採用数の増減：採用活動の時期：需要の高い学科系統 等】を調査いたしました。このたび401社からの回答を得て調査結果がまとまりましたので発表させていただきます。

**主な調査結果トピックス****最もニーズの高い学科系統は「電気・電子系」がトップに。**

今後、理系人材としてニーズの高い「学科系統」を上位5つまで選択してもらった。その結果、今後もニーズの高い学科系統として「電気・電子系」が750ポイント、「機械系」が685ポイントと高いニーズを集めた。

**採用予定数「増やす」企業が学部卒で30%を超える。**

理工系の採用を増やすかどうかについて調査したところ学部卒において「増やす」と回答した企業が30.3%にのぼった。同時期に調査した「2006年卒の採用予定調査」(4月4日報道発表資料)においても理工系の学部生採用において「増やす」と回答した企業は、昨年の24.1%から32.0%に上昇しており、企業の採用意欲が上向いていることが分かる。

**今後の重要性が高まる技術分野として「地球環境対応技術分野」**

今後10年間で重要性の高まると予想される技術分野については、「地球環境問題に対するの対応技術分野の重要性」を挙げる企業が最も多かった。今年2月に発効された京都議定書などに代表される地球環境対策への技術的進歩は、今後もますます重要性が高まっていくことになりそうだ。

**評価するポイントは「コミュニケーション能力」と「チャレンジ精神」。**

技術系学生を採用する際に求める資質について聞いてみたところ、トップはどのカテゴリーにおいても「コミュニケーション能力」が挙げられた。次いで各項目で多かったのが「チャレンジ精神」、「行動力・実行力」と続く。

**【本調査に関するお問い合わせ先】**株式会社毎日コミュニケーションズ 企画広報部企画推進課  
TEL03(6267)4571/FAX03(6267)4023 / E-mail : [kikaku@mycom.co.jp](mailto:kikaku@mycom.co.jp)

## 2006年卒：新卒における理工系人材ニーズ調査アンケート

### I N D E X

調査概要	.....	-	2P
理工系採用予定数	.....	-	4P
ニーズの高い「学科系統」	.....	-	5P
採用予定数の増減	.....	-	6P
採用方針	.....	-	6P
推薦と自由応募の割合	.....	-	7P
学校推薦の廃止	.....	-	7P
21世紀COEプログラム	.....	-	7P
技術分野に関する重要性変化	.....	-	7P
採用する学生に求める資質	.....	-	8P

### 調査概要

調査名 / 「2006年卒新卒における理工系人材ニーズアンケート」

調査方法 / 回答用紙を郵送、Faxにて返送

調査期間 / 2005年2月10日(木)発送、3月10日(月)受付締切り

アンケート送付対象 / 新卒採用実績のある国内企業 8,000社

回答 / 401件 【回答の内訳 『上場・店頭公開企業』131社：『未上場企業』270社  
『製造業』195社：『非製造業』206社】

## 調査結果

### [1] 2006年卒者採用予定数について

#### **人気は電気・電子系、機械系が中心。業界に好景気感が見える土木・建築系も予定数多し。**

ここ数年文理不問の採用企業が増える中、あえて理工系の採用予定人数をヒアリングしてみたところ、170社から具体的な回答を得ることができた。その結果、一番採用予定数が多かったのは「電気・電子系」、次いで「機械系」と以前から人気の系統が上位を占めた。次いで業界に景気回復感のある住宅・建設を中心に「土木・建築系」、IT社会のインフラに必須の「情報工学系」と続く。また、製薬各社のMR確保や、医薬分業で住み分けの進む調剤・ドラッグストアなどから高い需要のある「薬学系」も高い数字となっている。

### [2] 今後理系人材としてニーズの高い「学科系統」

#### **今後最もニーズの高い学科系統も「電気・電子系」がトップに。**

続いて今後、理系人材としてニーズの高い「学科系統」を上位5つまで選択してもらった。その結果、今後もニーズの高い学科系統として「電気・電子系」が750ポイント、「機械系」が685ポイントと採用予定数同様に高いニーズを集めた。この系統は特に製造業から高い支持を集めている。次いでニーズが高かった系統は「情報工学系」。この系統についても「ソフトウェア・情報処理」といった業界から高い需要が続いているが、近年特にインターネットの普及による技術革新などが、より一層拍車を掛けているようだ。

### [3・4] 採用予定数の増減、採用方針について

#### **採用予定数「増やす」企業が学部卒で30%を超える**

理工系の採用を増やすかどうかについて調査したところ学部卒において「増やす」と回答した企業が30.3%にのぼった。同時期に調査した「2006年卒の採用予定調査」(4月4日報道発表資料)においても理工系の学部生採用において「増やす」と回答した企業は、昨年の24.1%から32.0%に上昇しており、企業の採用意欲が上向していることが分かる。

これを院卒の修士・博士と比較してみると「増やす」という回答が修士で17.5%、博士では7.1%と学部卒と比較して低い数字となっている。修士においては上場もしくは製造業というカテゴリーで比較的高い需要増が見られるが、博士においては卒業の人数も限られることから中々数字として表れてこないようだ。

採用する人材に対する「質重視」の姿勢に大きな変化はない。学部卒において「徹底して質を重視」が41.2%、「量よりは質を重視」が50.4%となっている。これを院卒(修士)・院卒(博士)と比較してみると、やはり上級に進学するに応じて、より質重視、専門性重視の傾向が表れていることが分かる。

### [5・6] 学校推薦と自由応募の割合

#### **理系でも自由応募による採用が完全に定着**

学部卒を採用する際、自由応募中心での採用活動が70.2%にのぼっており、企業の採用活動は完全に学校推薦から自由応募へとシフトしていることが分かる。(修士66.2%、博士72.4%)。早期から積極的なアプローチを受ける理系学生にしてみると学校推薦が出る前に本格的な選考が終了しているというケースも少なくない。昨年11月にソニーが06卒の採用から「学校推薦制」の全廃を報じたニュースが流れたように、企業側も優秀な人材獲得のために形骸化したシステムを利用して出会う学生よりも、より積極的にアプローチしてくる学生から採用するというケースは出始めている。今後、理系学生へのニーズが高騰し採用が難しくなることも予想されるため、学校推薦に頼る企業も増えてくるかもしれないが、今暫くは自由応募を中心とした流れに大きな変化は無さそうだ。

### [9] 今後10年間、技術分野に関しての重要性の変化について

#### **今後の重要性が高まる技術分野として「地球環境対応技術分野」と「IT・ネットワーク技術分野」**

今後10年間で重要性の高まると予想される技術分野については、昨今の「地球環境問題」に対する対応技術分野の重要性を挙げる企業が最も多かった。今年2月に発効された京都議定書などに代表される地球環境対策への技術的進歩は今後もますます重要性が高まっていくことになりそうだ。

続いて高い得票を集めたのが、ソフトウェア関連の企業を中心とした「IT技術の進歩とネットワーク・システム技術開発の高度化と重要性」と、製造業の企業を中心とした「低コスト化・高品質化に関する技術の重要性」が挙げられている。

### [10] 採用する技術者に求める資質

#### **評価するポイントは「コミュニケーション能力」と「チャレンジ精神」**

技術系学生を採用する際に求める資質について聞いてみたところ、トップはどのカテゴリーにおいても「コミュニケーション能力」が挙げられた。これは弊社の「2006年卒の採用予定調査」においても、厳しく評価するポイントとして「コミュニケーション能力」が文理に関係なく高い数値となっている。他人と確実なコミュニケーションが取れることをビジネスパーソンの最低条件とする現在の採用基準において、理系だけを特別視することは無いようだ。次いで各項目で多かったのが「チャレンジ精神」、「行動力・実行力」と続く。

# [1] 理工系採用予定数

理工系採用予定人数(有効回答社数170社の採用予定人数合計)

(採用予定人数)	学部卒	院卒修士	院卒博士	全体
機械系	262	48	7	317
電気・電子系	313	64	9	386
化学系	81	59	9	149
土木・建築系	237	16	2	255
航空宇宙・船舶海洋系	80	8	2	90
情報工学系	185	37	15	237
生物系	23	25	7	55
材料系	88	19	6	113
数学・情報科学系	34	9	4	47
物理系	14	11	1	26
地学系	2	3	2	7
資源系	7	2	2	11
経営・管理系	45	6	3	54
農学系	31	23	8	62
獣医・畜産系	7	6	5	18
医学・歯学系	6	6	3	15
薬学系	177	46	7	230
医療・保険・看護系	7	3	3	13
その他理系	27	10	8	45
合計(人)	1626	401	103	2130

文理不問の回答は今回の趣旨から集計に含めないこととした。

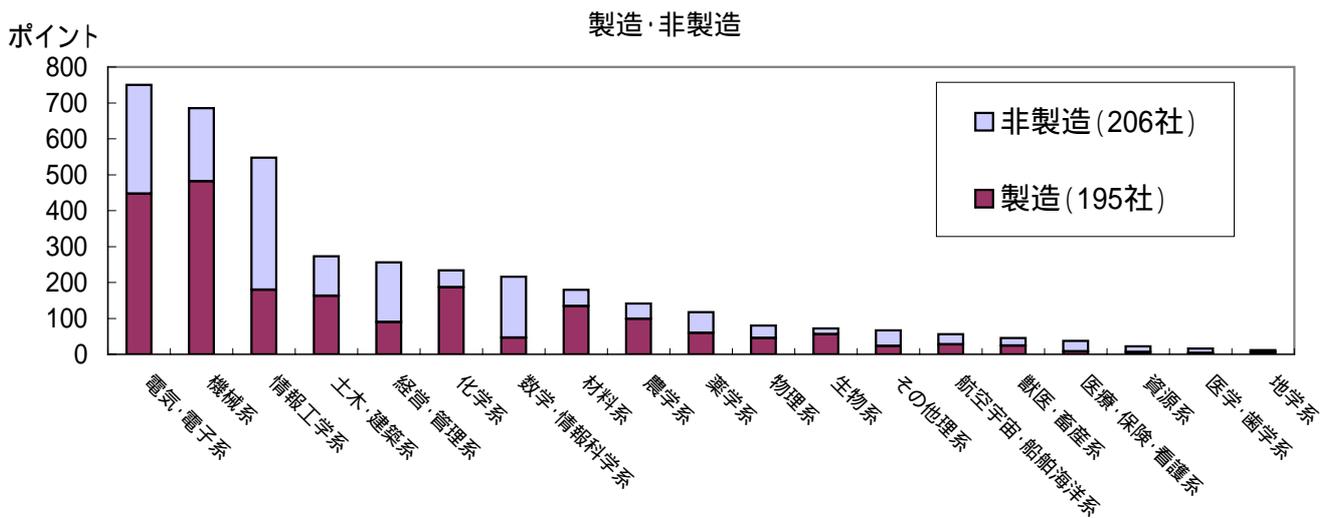
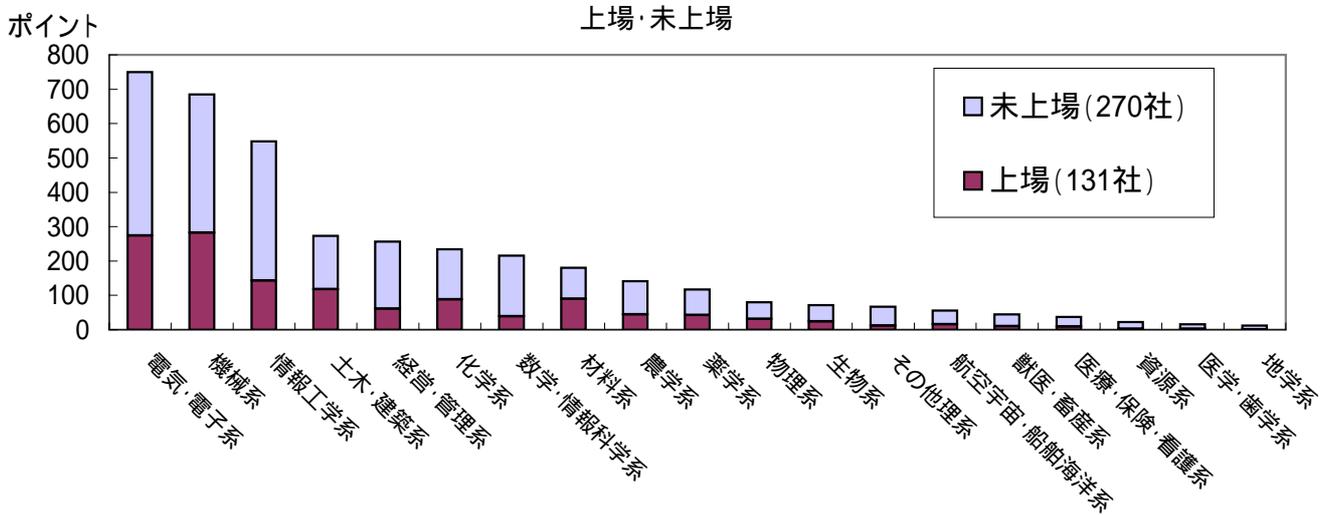
上場・未上場 (採用予定人数)	学部卒		院卒(修士)		院卒(博士)	
	上場	未上場	上場	未上場	上場	未上場
機械系	51	211	24	24	3	4
電気・電子系	71	242	30	34	5	4
化学系	16	65	41	18	6	3
土木・建築系	79	158	5	11		2
航空宇宙・船舶海洋系	1	79		8		2
情報工学系	39	146	11	26	6	9
生物系	9	14	13	12	4	3
材料系	8	80	10	9	2	4
数学・情報科学系	7	27	1	8		4
物理系	9	5	8	3		1
地学系		2	1	2		2
資源系	4	3		2		2
経営・管理系	19	26	3	3		3
農学系	9	22	5	18	3	5
獣医・畜産系	1	6	3	3	2	3
医学・歯学系	3	3		6		3
薬学系	142	35	31	15	1	6
医療・保険・看護系	2	5		3		3
その他理系	5	22		10		8

製造・非製造 (採用予定人数)	学部卒		院卒(修士)		院卒(博士)	
	製造	非製造	製造	非製造	製造	非製造
機械系	115	147	33	15	5	2
電気・電子系	173	140	40	24	5	4
化学系	31	50	51	8	7	2
土木・建築系	182	55	9	7		2
航空宇宙・船舶海洋系		80		8		2
情報工学系	41	144	10	27	6	9
生物系	14	9	22	3	4	3
材料系	16	72	12	7	4	2
数学・情報科学系	2	32		9		4
物理系	9	5	8	3		1
地学系		2	1	2		2
資源系	1	6		2		2
経営・管理系	24	21	1	5		3
農学系	19	12	16	7	3	5
獣医・畜産系	1	6	3	3	2	3
医学・歯学系		6	3	3		3
薬学系	19	158	20	26	1	6
医療・保険・看護系		7		3		3
その他理系	9	18	2	8		8

## [2] 今後理系人材としてニーズの高い「学科系統」

上位5つ選択(1を5ポイント、2を4ポイント、3を3ポイント、4を2ポイント、5を1ポイントで計算し、その数値を合算集計)

ポイント数合計	全体	上場(131社)	未上場(270社)	製造(195社)	非製造(206社)
電気・電子系	750	274	476	447	303
機械系	685	282	403	482	203
情報工学系	548	143	405	180	368
土木・建築系	273	118	155	163	110
経営・管理系	256	61	195	90	166
化学系	234	88	146	187	47
数学・情報科学系	216	39	177	46	170
材料系	180	90	90	134	46
農学系	141	45	96	99	42
薬学系	117	43	74	60	57
物理系	80	32	48	45	35
生物系	72	24	48	56	16
その他理系	67	12	55	23	44
航空宇宙・船舶海洋系	56	16	40	28	28
獣医・畜産系	45	10	35	24	21
医療・保険・看護系	37	9	28	8	29
資源系	22	3	19	6	16
医学・歯学系	16	3	13	4	12
地学系	12	1	11	6	6



### [3] 採用予定数の増減

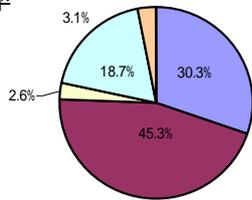
(05卒採用活動時との比較)

学部卒	全体	上場	未上場	製造	非製造
1.増やす	30.3%	31.3%	29.8%	32.6%	28.1%
2.今年度並み	45.3%	43.8%	46.1%	47.9%	42.9%
3.減らす	2.6%	1.6%	3.1%	4.7%	0.5%
4.未定	18.7%	21.1%	17.4%	14.2%	23.0%
5.予定なし	3.1%	2.3%	3.5%	0.5%	5.6%
6.見送り(中止)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

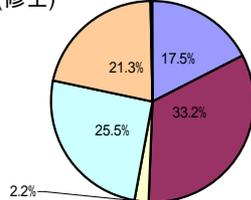
院卒(修士)	全体	上場	未上場	製造	非製造
1.増やす	17.5%	21.6%	15.3%	23.3%	11.9%
2.今年度並み	33.2%	41.6%	28.8%	38.1%	28.6%
3.減らす	2.2%	1.6%	2.5%	3.4%	1.1%
4.未定	25.5%	24.0%	26.3%	19.3%	31.4%
5.予定なし	21.3%	11.2%	26.7%	15.9%	26.5%
6.見送り(中止)	0.3%	0.0%	0.4%	0.0%	0.5%

院卒(博士)	全体	上場	未上場	製造	非製造
1.増やす	7.1%	6.5%	7.5%	7.0%	7.2%
2.今年度並み	19.7%	25.0%	16.7%	22.2%	17.2%
3.減らす	1.4%	0.8%	1.8%	1.8%	1.1%
4.未定	30.8%	31.5%	30.4%	29.8%	31.7%
5.予定なし	40.5%	36.3%	42.7%	39.2%	41.7%
6.見送り(中止)	0.6%	0.0%	0.9%	0.0%	1.1%

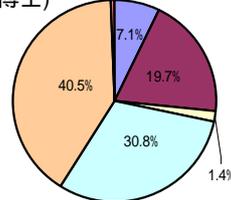
学部卒



院卒(修士)



院卒(博士)



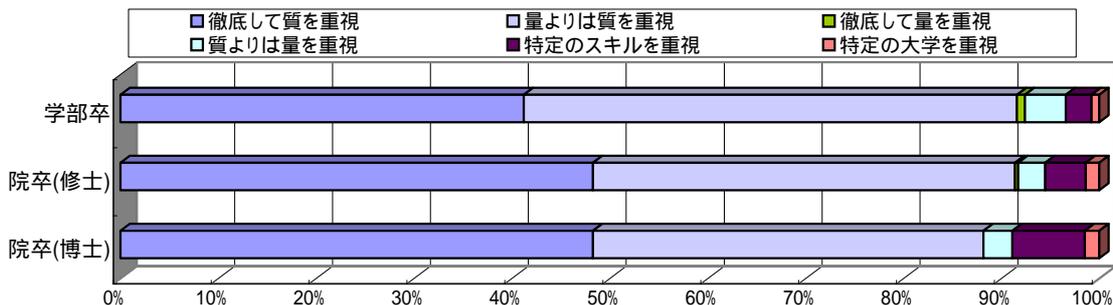
### [4] 理工系採用にあたっての採用方針

(採用予定なしの回答を除いて集計)

学部卒 (n=381)	全体	上場	未上場	製造	非製造
徹底して質を重視	41.2%	35.2%	44.1%	41.1%	41.3%
徹底して量を重視	0.8%	1.6%	0.4%	0.0%	1.6%
量よりは質を重視	50.4%	56.0%	47.7%	55.2%	45.5%
質よりは量を重視	4.2%	4.8%	3.9%	1.0%	7.4%
特定のスキルを重視	2.6%	2.4%	2.7%	2.1%	3.2%
特定の大学を重視	0.8%	0.0%	1.2%	0.5%	1.1%

院卒(修士) (n=292)	全体	上場	未上場	製造	非製造
徹底して質を重視	48.3%	38.9%	54.2%	48.3%	48.2%
徹底して量を重視	0.3%	0.9%	0.0%	0.0%	0.7%
量よりは質を重視	43.1%	52.2%	37.3%	46.4%	39.6%
質よりは量を重視	2.8%	2.7%	2.8%	0.0%	5.8%
特定のスキルを重視	4.1%	5.3%	3.4%	4.6%	3.6%
特定の大学を重視	1.4%	0.0%	2.3%	0.7%	2.2%

院卒(博士) (n=206)	全体	上場	未上場	製造	非製造
徹底して質を重視	48.3%	44.2%	50.8%	51.5%	45.1%
徹底して量を重視	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
量よりは質を重視	39.9%	41.6%	38.9%	39.6%	40.2%
質よりは量を重視	3.0%	3.9%	2.4%	0.0%	5.9%
特定のスキルを重視	7.4%	10.4%	5.6%	7.9%	6.9%
特定の大学を重視	1.5%	0.0%	2.4%	1.0%	2.0%



## [5] 推薦と自由応募の割合

(採用予定なしの回答を除いて集計)

学部卒 (n=381)	全体	上場	未上場	製造	非製造
学校推薦のみで採用	1.1%	1.6%	0.8%	1.6%	0.5%
学校推薦と自由応募の併用	28.8%	40.0%	23.2%	41.1%	16.0%
自由応募だが推薦状の提出が必要	7.1%	8.0%	6.7%	8.9%	5.3%
自由応募のみで採用	63.1%	50.4%	69.3%	48.4%	78.1%

院卒(修士) (n=292)	全体	上場	未上場	製造	非製造
学校推薦のみで採用	1.4%	2.7%	0.6%	1.9%	0.7%
学校推薦と自由応募の併用	32.5%	44.1%	25.4%	47.4%	15.9%
自由応募だが推薦状の提出が必要	8.2%	9.9%	7.2%	10.4%	5.8%
自由応募のみで採用	57.9%	43.2%	66.9%	40.3%	77.5%

院卒(博士) (n=206)	全体	上場	未上場	製造	非製造
学校推薦のみで採用	1.9%	3.8%	0.8%	2.9%	1.0%
学校推薦と自由応募の併用	25.7%	34.6%	20.3%	40.0%	10.9%
自由応募だが推薦状の提出が必要	7.8%	10.3%	6.3%	10.5%	5.0%
自由応募のみで採用	64.6%	51.3%	72.7%	46.7%	83.2%

## [6] 学校推薦の廃止を検討しているか？

(設問5で1・2に回答の企業のみ)

検討している	4.9%
検討していない	95.1%

## [7] 「21世紀COEプログラム」について何か知っていたか

	全体	上場	未上場	製造	非製造
はい	18.4%	28.3%	13.6%	23.0%	13.9%
いいえ	81.6%	71.7%	86.4%	77.0%	86.1%

## [8] 「21世紀COEプログラム」についてどの程度関心があるか

(前問ではいと回答した企業のみ)

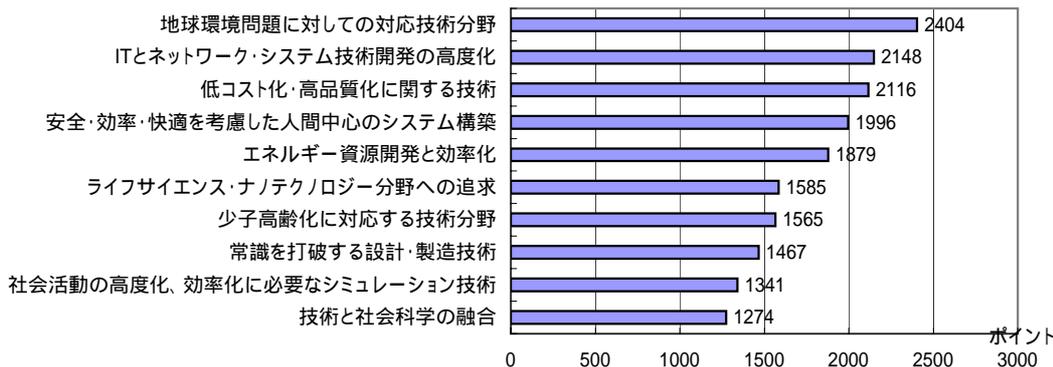
	全体	上場	未上場	製造	非製造
かなり関心がある	2.8%	0.0%	5.7%	4.5%	0.0%
まあまあ関心がある	57.7%	69.4%	45.7%	54.5%	63.0%
あまり関心がない	38.0%	30.6%	45.7%	38.6%	37.0%
まったく関心がない	1.4%	0.0%	2.9%	2.3%	0.0%

## [9] 今後10年間、技術分野に関しての重要性の変化

上位から優先順位付け(1を10ポイント、2を9ポイント・・・10を1ポイントで計算した合計数値)

	全体	上場(131社)	未上場(270社)	製造(195社)	非製造(206社)
地球環境問題に対するの対応技術分野の重要性が高まる	2404	825	1579	1260	1144
IT技術の進歩とネットワーク・システム技術開発の高度化と重要性が高まる	2148	682	1466	982	1166
低コスト化・高品質化に関する技術の重要性の拡大	2116	706	1410	1134	982
安全性・効率性・快適性を解決するために人間中心のシステム構築の必要性	1996	628	1368	1012	984
エネルギー資源開発と効率化の重要性	1879	637	1242	991	888
生命科学・人間科学を進化させたライフサイエンス・ナノテクノロジー分野への追求	1585	527	1058	821	764
少子高齢化に対応するための対応技術分野の重要性が高まる	1565	496	1069	734	831
現代の常識を破るための設計・製造技術の重要性	1467	488	979	811	656
産業・経済活動など社会活動の高度化、効率化に必要なシミュレーション技術の高度化	1341	452	889	640	701
技術と社会科学の融合	1274	404	870	598	676

今後10年間、技術分野に関しての重要性の変化



【10】採用する大卒・大学院卒の技術者に求める資質

(5つ選択)

学部卒	全体	上場	未上場	製造	非製造
コミュニケーション能力	76.2%	77.8%	75.4%	74.1%	78.4%
チャレンジ精神	57.4%	67.5%	52.2%	64.4%	50.3%
行動力・実行力	49.9%	45.3%	52.2%	49.4%	50.3%
問題発見・解決能力	44.6%	43.6%	45.2%	42.5%	46.8%
学位に応じた基礎知識	38.3%	36.8%	39.0%	40.2%	36.3%
発想の豊かさや視野の広さ	37.1%	40.2%	35.5%	39.7%	34.5%
自己の技術と異分野の技術を柔軟に結びつけることの出来る柔軟性と企画力	27.0%	25.6%	27.6%	31.6%	22.2%
今後担うべき担当業務に必要な技術と知識	26.4%	29.1%	25.0%	27.0%	25.7%
リーダーシップ	24.3%	19.7%	26.8%	16.7%	32.2%
顧客や市場に対する探究心	21.2%	21.4%	21.1%	20.1%	22.2%
先端技術に対する興味・関心	18.8%	17.9%	19.3%	19.0%	18.7%
独創性・独自性	16.5%	11.1%	19.3%	17.2%	15.8%
市場の変化や環境の変化に対応する機敏性	15.1%	17.1%	14.0%	16.1%	14.0%
効率とコストを意識した経済性	10.7%	9.4%	11.4%	13.2%	8.2%
プロジェクトマネジメント能力	9.6%	8.5%	10.1%	5.7%	13.5%
安全性に対する理解と行動	6.7%	10.3%	4.8%	6.9%	6.4%
情報リテラシー	5.5%	3.4%	6.6%	2.3%	8.8%
国際的視野・行動力	5.2%	6.0%	4.8%	7.5%	2.9%
リスクマネジメント	4.3%	4.3%	4.4%	2.9%	5.8%
環境に対する理解と配慮	3.5%	4.3%	3.1%	1.7%	5.3%

院卒(修士)	全体	上場	未上場	製造	非製造
コミュニケーション能力	73.8%	78.2%	70.6%	70.4%	77.7%
チャレンジ精神	50.6%	57.3%	45.8%	54.2%	46.3%
問題発見・解決能力	44.1%	44.5%	43.8%	39.4%	49.6%
行動力・実行力	42.6%	39.1%	45.1%	41.5%	43.8%
発想の豊かさや視野の広さ	38.4%	40.9%	36.6%	40.8%	35.5%
学位に応じた基礎知識	35.7%	36.4%	35.3%	38.7%	32.2%
自己の技術と異分野の技術を柔軟に結びつけることの出来る柔軟性と企画力	34.2%	33.6%	34.6%	41.5%	25.6%
今後担うべき担当業務に必要な技術と知識	30.4%	35.5%	26.8%	32.4%	28.1%
リーダーシップ	22.4%	18.2%	25.5%	16.2%	29.8%
先端技術に対する興味・関心	22.1%	25.5%	19.6%	24.6%	19.0%
独創性・独自性	18.6%	10.0%	24.8%	19.0%	18.2%
顧客や市場に対する探究心	17.9%	16.4%	19.0%	16.9%	19.0%
市場の変化や環境の変化に対応する機敏性	16.0%	14.5%	17.0%	16.9%	14.9%
プロジェクトマネジメント能力	12.5%	9.1%	15.0%	7.7%	18.2%
効率とコストを意識した経済性	9.1%	7.3%	10.5%	10.6%	7.4%
国際的視野・行動力	7.6%	8.2%	7.2%	9.2%	5.8%
リスクマネジメント	6.1%	5.5%	6.5%	4.9%	7.4%
安全性に対する理解と行動	4.9%	8.2%	2.6%	5.6%	4.1%
情報リテラシー	4.9%	2.7%	6.5%	2.1%	8.3%
環境に対する理解と配慮	4.2%	3.6%	4.6%	2.8%	5.8%

院卒(博士)	全体	上場	未上場	製造	非製造
コミュニケーション能力	73.8%	77.5%	71.4%	70.8%	77.0%
チャレンジ精神	53.0%	64.8%	45.5%	56.3%	49.4%
行動力・実行力	45.9%	40.8%	49.1%	41.7%	50.6%
問題発見・解決能力	44.8%	38.0%	49.1%	39.6%	50.6%
発想の豊かさや視野の広さ	37.7%	40.8%	35.7%	41.7%	33.3%
学位に応じた基礎知識	32.8%	32.4%	33.0%	36.5%	28.7%
今後担うべき担当業務に必要な技術と知識	30.6%	38.0%	25.9%	33.3%	27.6%
自己の技術と異分野の技術を柔軟に結びつけることの出来る柔軟性と企画力	30.6%	26.8%	33.0%	34.4%	26.4%
先端技術に対する興味・関心	21.9%	26.8%	18.8%	25.0%	18.4%
リーダーシップ	21.3%	12.7%	26.8%	15.6%	27.6%
市場の変化や環境の変化に対応する機敏性	18.0%	18.3%	17.9%	17.7%	18.4%
顧客や市場に対する探究心	17.5%	15.5%	18.8%	15.6%	19.5%
独創性・独自性	17.5%	15.5%	18.8%	18.8%	16.1%
プロジェクトマネジメント能力	14.2%	11.3%	16.1%	11.5%	17.2%
効率とコストを意識した経済性	8.7%	5.6%	10.7%	11.5%	5.7%
情報リテラシー	7.1%	4.2%	8.9%	5.2%	9.2%
国際的視野・行動力	6.0%	4.2%	7.1%	7.3%	4.6%
安全性に対する理解と行動	5.5%	9.9%	2.7%	6.3%	4.6%
リスクマネジメント	5.5%	8.5%	3.6%	4.2%	6.9%
環境に対する理解と配慮	4.9%	1.4%	7.1%	2.1%	8.0%